

小商工発第 号
令和3年11月 日

神奈川県知事 黒岩祐治 様
小田原市長 守屋輝彦 様
箱根町長 勝俣浩行 様

小田原箱根商工会議所
会頭 鈴木悌介

GoTo トラベルに関する緊急要望について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃は、当商工会議所活動に格別なるご支援を賜り、誠にありがとうございます。

さて、9月末に緊急事態宣言が解除され、国による GoTo トラベル再開による観光需要の回復への期待感が高まっています。

このような中、現在、国において制度の見直しをしていると伺っておりますが、前回の GoTo トラベル実施の中で見えてきた課題を踏まえ、事業者にとっても利用者にとってもより良い制度にさせていただくため、当所で緊急アンケートを実施し、GoTo トラベル事業への意見を次のように取りまとめました。

つきましては、(神奈川県・小田原市・箱根町)におかれましても、国に対し本意見が反映されるよう働きかけをしていただきますよう要望いたします。

敬具

記

1. 平日と休日における利用客の分散を

前回の GoTo トラベルでは、宿泊施設においては平日では予約の空きがあるものの休日に満室となるなど、稼働率に偏りが生じておりました。その他の施設においても休日に利用客が集中することから、「密」の状態が各所で発生しておりました。

つきましては、事業者にとっても効率のいい運営、利用者にとっても快適な体験のため、対象を平日に限定するとか、平日の割引を大きくするなどにより、利用客を平日に誘導して、分散利用されるような制度の見直しをお願いいたします。

2. 事務負担の軽減を

前回の GoTo トラベルにおいて、地域共通クーポン発行業務やその管理業務、予約キャンセル時の事務処理などをはじめ、土産物店や飲食店における地域共通クーポンの事務処理など事業者に多くの負担が発生しました。

つきましては、これら事務手続きの簡略化、負担軽減を図っていただくようお願いいたします。

3. 十分な準備期間と告知期間を

前回の GoTo トラベルにおいては、メディア報道が先行する中、事業者が十分な準備がないまま、利用者からの問い合わせが多発するなど事業者の現場は大変な混乱状況に陥りました。

事業者が万全な体制を構築できるように、事業者へ先行的に情報提供をしていただくことや一般向けの告知と実施の間に十分な時間をとっていただくことをお願いします。

4. 継続的な効果のある期間設定を

コロナ禍により、観光業界は長期に渡り多大な影響を受けており、回復には時間がかかることが予想されます。一過性の施策ではなく、継続的な効果が出るよう GoTo トラベルの効果を持続させ、観光業界の回復の下支えとなるように、可能な限り長期に亘る実施をお願いいたします。

以上